



② 確認





0より大きい数を 正の数 という。

正の符号 +^{プラス} をつけて表すことがある。

0より小さい数を 負の数 という。

負の符号 -^{マイナス} をつけて表す。

※0は正の数でも負の数でもない。

・ 次の数を正の符号、負の符号を使って表しなさい。

① 0より1.5大きい数

+ 1.5

② 0より7小さい数

- 7

③ 0より0.3小さい数

- 0.3

④ 0より $\frac{2}{5}$ 小さい数

- $\frac{2}{5}$

⑤ 0より5大きい数

+ 5

